

市橋まち協だより

令和6年3月1日発行
第12号発行
市橋まちづくり協議会

水防団・消防団の活動紹介

市橋まちづくり協議会は3つの部会を設けており、その一つが、安全・安心なまちをめざす「防災安全部会」です。防災安全部会には、水防団と消防団の代表も委員として参加しています。本号では、水防団と消防団の活動を理解いただけるよう、紹介することとしました。

市橋水防団団長 永田光明さんにインタビュー

○市橋水防団の定員は28名。現在27名で1名欠員。

来年度1名入団予定。

○年間8回程度水防訓練をしている。すばやく、強固な土のう積みができるよう、訓練に力を入れている。

○会社員が多いため、災害時に勤務先にいた時は、残念ながら初動に遅れが生じてしまうことが予測される。

○災害（水害）を経験したことがないため、実際に災害が起こったとき、混乱しないよう、日頃の訓練を大切にしたい。

○団員が高齢化してきているため、若い人の加入を願っている。水防団員の加入について皆さんに関心をもっていただけるとありがたい。



市橋分団分団長 宮田啓治さんにインタビュー



○定員25名。現団員18名で、7名不足。

○火災や自然災害から地域を守るため、団員全員頑張っている。

○市橋地域に火災が起きたときは、出動する。自宅で仕事をしているのは、18名中1名のため、時間によってはすぐ出動できないのが悩みの種。

○主な活動

毎月 1日（月初め）…定例会、広報

1月…出初式に参加 3・11月…全国火災予防運動（広報）12月…年末夜警

特別点検（年1回） 消防職員との合同訓練（年4回）

○市橋分団はここ数年、定員割れが続き、活動に支障が生じるときがあります。

是非市橋分団に加入いただき、地域防災活動に参加ください。満18才以上なら男女問わず入団できます。



昨年12月、消防広報車が新しくなりました。30年ぶりとのことです。

オートマ車になり、より多くの団員が活用できるようになり、活動に生かされてます。



終わりに

地震も大雨も台風も避けることはできません。しかし、私たちの努力で被害を減少させることは可能です。本号を通して、私たちは、水害・火災・地震等の災害から地域を守る活動の先頭に立って活動してみえる水防団・消防団の皆さんに感謝するとともに、私たち一人一人ができることを考える機会としたいものです。

（市橋まちづくり協議会事務局）